

# 平成21年6月期 第3四半期決算短信

平成21年5月14日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <http://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部本部長 (氏名) 谷口 郁志

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年6月期第3四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成21年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第3四半期	13,416	—	1,089	—	542	—	143	—
20年6月期第3四半期	15,382	△3.2	1,467	2.6	737	△72.9	424	△72.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第3四半期	8.59	—
20年6月期第3四半期	24.58	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月期第3四半期	29,719	22,409	75.4	1,353.14
20年6月期	31,972	23,734	74.2	1,408.20

(参考) 自己資本 21年6月期第3四半期 22,409百万円 20年6月期 23,734百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
21年6月期	—	0.00	—		
21年6月期 (予想)				35.00	35.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△14.2	1,700	△26.9	100	△88.2	△200	—	△12.07

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年6月期第3四半期	17,653,506株	20年6月期	17,653,506株
② 期末自己株式数	21年6月期第3四半期	1,092,230株	20年6月期	799,146株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年6月期第3四半期	16,712,342株	20年6月期第3四半期	17,285,251株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する金融不安が实体经济に影響を及ぼし、自動車産業、電機産業を中心に、全産業において企業の業績は急激に悪化しており、生産調整、雇用調整が加速しています。ユニフォーム業界においては、制服の更新需要は減退し、メンズ業界においては、消費者心理は冷え込み、非常に厳しい状況が続きました。

このような状況のもと当社グループは、ユニフォーム部門におきましては、「安全」「快適」「環境」「安心」をテーマとして、エンドユーザーのニーズにマッチした新商品の開発に努力してまいりました。特に「環境」においては、平成20年6月には、ワーキングユニフォームメーカーとしては日本初の産業廃棄物の広域認定を取得し、この制度を活用した物件の受注に努力してまいりました。全国から使用済みユニフォームを回収、リサイクルすることにより、CO2排出量を削減し、企業価値・ブランドイメージ・消費者からの信頼向上を図っております。また、カジュアルテイストのユニフォームとして、「JAPAN（日本）」「WIN（勝利）」という意味を込めた新ブランド「Jawin（ジャウイン）」の展開を引き続き強化し、販促キャンペーンによる新たな需要の喚起に努めました。平成17年1月に販売を開始したセーフティスニーカーは、新商品の開発・展開を強化し、新たな営業の柱として、引き続き順調に売上を伸ばしております。医療用白衣においては、ユーザーのニーズにマッチした新商品の開発や、新規取引先の開拓を積極的に進めるとともに、既存取引先との取り組み強化を図るなど、当社医療用白衣「WHISeL（ホワイセル）」ブランドの知名度向上と、売上の拡大に努力してまいりました。

メンズ部門におきましては、品質・コスト・付加価値の追求により、市場のニーズに対応した商品の提供に努力してまいりました。また、流通チャネルの変化に対応するため、新規販売チャネルの開拓の強化を図るとともに、既存取引先との取り組みを強化してまいりました。

また、急激に悪化する市況の中、利益を確保していくため、生産体制の見直しや経費の削減に取り組み、コスト構造の見直しを進めてまいりました。引き続き、役員報酬をはじめとする人件費の見直しを含め、製造原価及び経費の削減に向けて抜本的な改革に取り組んでまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,416百万円となりました。利益面におきましては、売上高の減少により、営業利益は1,089百万円となりました。急激な円高の進行により、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っておりますクーポンスワップ取引に係る時価評価等によりデリバティブ評価損751百万円を計上したことにより、経常利益は542百万円、四半期純利益は143百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,253百万円減少し、29,719百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ298百万円減少し、17,848百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,725百万円、商品及び製品が259百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が2,769百万円、未収還付法人税等が355百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,955百万円減少し、11,870百万円となりました。これは主に投資有価証券が評価替え等により1,885百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,330百万円減少し、5,190百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,108百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ401百万円増加し、2,119百万円となりました。これは主に固定負債のその他が422百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,324百万円減少し、22,409百万円となりました。これは主に利益剰余金が446百万円、その他有価証券評価差額金が664百万円減少したことなどによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より2,725百万円増加し、8,001百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3,176百万円となりました。これは主に、減価償却費169百万円、投資有価証券評価損473百万円、デリバティブ評価損751百万円、売上債権の減少2,769百万円、法人税等の還付額542百万円等による増加と、賞与引当金の減少128百万円、棚卸資産の増加145百万円、仕入債務の減少1,108百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は339百万円となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入141百万円、保険積立金の解約による収入201百万円等による増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は797百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出209百万円、配当金の支払額588百万円等による減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成21年2月12日発表時の連結業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算出しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ28百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,023,563	5,297,834
受取手形及び売掛金	4,153,580	6,922,613
有価証券	101,388	118,299
商品及び製品	4,883,911	4,624,210
仕掛品	67,620	139,184
原材料及び貯蔵品	128,313	170,584
未収還付法人税等	136,816	492,223
繰延税金資産	74,804	70,646
その他	287,245	326,160
貸倒引当金	△8,539	△14,831
流動資産合計	17,848,705	18,146,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,844,610	2,989,302
土地	3,895,143	3,909,910
建設仮勘定	799	799
その他(純額)	174,896	189,728
有形固定資産合計	6,915,450	7,089,741
無形固定資産	30,302	37,646
投資その他の資産		
投資有価証券	3,645,624	5,531,169
繰延税金資産	898,801	387,920
その他	508,618	865,160
貸倒引当金	△127,928	△85,616
投資その他の資産合計	4,925,116	6,698,634
固定資産合計	11,870,869	13,826,023
資産合計	29,719,574	31,972,949

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,487,814	5,596,217
未払金	416,631	393,440
未払法人税等	217	2,422
返品調整引当金	44,179	71,311
賞与引当金	104,312	232,639
その他	137,175	224,409
流動負債合計	5,190,329	6,520,440
固定負債		
退職給付引当金	359,000	380,222
その他	1,760,500	1,338,038
固定負債合計	2,119,501	1,718,261
負債合計	7,309,830	8,238,701
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,626	1,827,723
利益剰余金	18,713,844	19,160,181
自己株式	△943,494	△734,817
株主資本合計	22,580,476	23,235,588
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△173,270	491,577
繰延ヘッジ損益	2,538	7,081
評価・換算差額等合計	△170,732	498,659
純資産合計	22,409,744	23,734,247
負債純資産合計	29,719,574	31,972,949

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	13,416,136
売上原価	9,615,403
売上総利益	3,800,733
販売費及び一般管理費	2,711,573
営業利益	1,089,160
営業外収益	
受取利息及び配当金	66,188
受取賃貸料	121,365
為替差益	7,662
その他	103,698
営業外収益合計	298,914
営業外費用	
賃貸収入原価	40,779
デリバティブ評価損	751,041
その他	54,158
営業外費用合計	845,979
経常利益	542,094
特別利益	
投資有価証券売却益	16,176
固定資産売却益	1,020
特別利益合計	17,197
特別損失	
投資有価証券評価損	473,082
貸倒引当金繰入額	22,270
固定資産除売却損	1,057
特別損失合計	496,410
税金等調整前四半期純利益	62,881
法人税、住民税及び事業税	30,897
法人税等還付税額	△49,789
法人税等調整額	△61,791
法人税等合計	△80,683
四半期純利益	143,565

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年7月1日  
至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	62,881
減価償却費	169,799
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	36,019
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△128,327
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△27,132
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△21,222
受取利息及び受取配当金	△66,188
投資有価証券評価損益 (△は益)	473,082
デリバティブ評価損益 (△は益)	751,041
売上債権の増減額 (△は増加)	2,769,032
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△145,865
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,108,403
その他	△152,195
小計	2,612,522
利息及び配当金の受取額	66,258
法人税等の支払額	△44,428
法人税等の還付額	542,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,176,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△12,480
定期預金の払戻による収入	12,480
有形固定資産の取得による支出	△7,825
有形固定資産の売却による収入	22,184
無形固定資産の取得による支出	△629
投資有価証券の取得による支出	△58,015
投資有価証券の売却による収入	47,783
投資有価証券の償還による収入	141,293
保険積立金の解約による収入	201,689
その他	△7,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	339,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△209,434
自己株式の売却による収入	659
配当金の支払額	△588,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△797,630
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,662
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,725,728
現金及び現金同等物の期首残高	5,276,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,001,883

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成21年3月31日）において、当社及び連結子会社は衣料品製造販売を事業内容としており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成21年3月31日）において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。また、本邦以外の国又は地域に所属する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成21年3月31日）において、海外売上高は連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年7月1日～平成20年3月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年6月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	15,382,299
II 売上原価	10,931,746
売上総利益	4,450,553
III 販売費及び一般管理費	2,982,650
営業利益	1,467,902
IV 営業外収益	
1. 受取利息及び配当金	130,427
2. 有価証券売却益	3,354
3. 受取賃貸料	130,670
4. 為替差益	125,941
5. その他	76,066
営業外収益合計	466,461
V 営業外費用	
1. 支払利息	23
2. 賃貸収入原価	40,389
3. デリバティブ評価損	1,149,026
4. その他	6,964
営業外費用合計	1,196,404
経常利益	737,959
VI 特別利益	
1. 固定資産売却益	2,041
2. その他	713
特別利益合計	2,755
VII 特別損失	
1. 投資有価証券評価損	16,426
2. その他	358
特別損失合計	16,785
税金等調整前四半期純利益	723,929
法人税、住民税及び事業税	239,667
法人税等調整額	66,323
少数株主損失	6,847
四半期純利益	424,786

（2）（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間（平成19年7月1日～平成20年3月31日）

	前年同四半期 (平成20年6月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	723,929
減価償却費	187,660
貸倒引当金の増減(△)額	2,687
賞与引当金の増減(△)額	△182,093
返品調整引当金の増減(△)額	△25,114
退職給付引当金の増減(△)額	△23,089
受取利息及び受取配当金	△130,427
支払利息	23
有価証券売却益	△3,354
デリバティブ評価損	1,149,026
売上債権の増(△)減額	2,350,661
棚卸資産の増(△)減額	△450,268
仕入債務の増減(△)額	△178,820
その他	△993,936
小計	2,426,883
利息及び配当金の受取額	130,515
利息の支払額	△23
法人税等の支払額	△1,352,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,205,058
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△14,323
定期預金の払戻による収入	71,893
有形固定資産の取得による支出	△16,215
有形固定資産の売却による収入	16,134
無形固定資産の取得による支出	△1,116
投資有価証券の取得による支出	△563,842
投資有価証券の売却による収入	589,005
その他	△28,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,515
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△425,743
配当金の支払額	△607,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,033,650
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	106,427
<b>V 現金及び現金同等物の増減(△)額</b>	331,350
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	5,032,909
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	5,364,259